

PRESS RELEASE

2022年11月1日

アルプスアルパイン株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
Upstream Security Ltd.

自動車サイバーセキュリティ対策の高度化に向けた 実証実験を開始

アルプスアルパイン株式会社(社長:栗山 年弘、本社:東京都、以下「アルプスアルパイン」)、MS & ADインシュアランス グループの三井住友海上火災保険株式会社(社長:船曳 真一郎、本社:東京都、以下「三井住友海上」)、Upstream Security Ltd.(CEO:Yoav Levy、本社:イスラエル、以下「Upstream」)は、7月から脅威情報を活用し、自動車サイバーセキュリティ対策の高度化や新たな保険商品・サービスの研究・開発に向けて実証実験を開始しました。

1. 背景

アルプスアルパインと三井住友海上は、自動車の「曲がる・止まる」といった自動制御における自動運転技術が進展する中、サイバーセキュリティ対策の高度化について保険・リスクマネジメントを含め幅広い観点から意見交換を重ねて参りました。

今般、論議の方向性を踏まえ、三井住友海上が出資・業務提携^{*}したUpstreamの持つ自動車向けサイバーセキュリティに関するノウハウを活用し、対策の高度化に向けて3社共同で実証実験を進めることとなりました。

^{*}三井住友海上は2021年5月にコネクテッドカーに特化したソリューションを提供するイスラエルのスタートアップ企業Upstreamに出資し、業務提携しました。

2. 実証実験概要

アルプスアルパインが製造する車載関連製品について、Upstreamを通じてディープウェブやダークウェブ、オープンソースから情報収集を行い、自動車サイバーセキュリティに関する脅威の実態や対策について調査・分析します。

会社名	実証実験の狙いと今後の取組
アルプスアルパイン	自社製の車載関連製品における脅威の実態を把握することを通じて、自動車サイバーセキュリティ対策を高度化する。
三井住友海上	サイバーセキュリティに関する保険商品の高度化、お客様のサイバーセキュリティ対策ニーズを補完するサービスの研究・開発をグループ一体となって進める。
Upstream	日本市場における自動車サイバーセキュリティの現状を理解し、新たなソリューション開発に役立てる。

以上